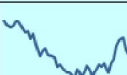


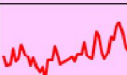
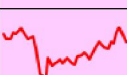
注目ポイント

- ✓先週は週初12日に米国と中国が互いの関税を引き下げることで合意したことが好感されて、日米ともに株価が上昇した。外為市場では、相対的に低リスク通貨とされる円を売る動きが優勢となり、12日には一時1ドル=148円65銭と約1か月ぶりの円安・ドル高となる場面もあった。ただ、13日には4月の米CPIが市場予想を下回り、FRBの利下げを意識したドル売りが入った。米国が日本に対して通貨安の是正を求めるとの思惑も円買いドル売り材料となった。
- ✓今週は、20日から主要7か国（G7）財務相・中央銀行総裁会議が開催され、それに合わせて日米財務相会談の開催が見込まれている。米国が求める円安是正が協議されるとの観測から円が強含む可能性があり、その場合には日本株が輸出関連株を中心に弱含む。また23日に発表される日本の全国CPI（4月）を受けて日銀の年内利上げ観測が強まれば、円買い圧力が高まる可能性にも要注意。（北田英治）

2025年5月12日 ～ 2025年5月16日

市場・指標			5月12日 ～ 5月16日		5月16日	前週末比		トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	騰落幅	騰落率	
株式	 日本	日経平均 (円)	38,494	37,417	37,754	+250	+0.7%	
	 米国	NYダウ (ドル)	42,664	41,778	42,655	+1,405	+3.4%	
	 ドイツ	DAX (ポイント)	23,912	23,339	23,767	+268	+1.1%	

市場・指標			5月12日 ～ 5月16日		5月16日	前週末比	トレンド (直近2か月)
			最高	最低	終値	変化幅(%)	
金利 (国債)	 日本	10年 (%)	1.480	1.380	1.445	+0.085	
	 米国	10年 (%)	4.55	4.39	4.48	+0.10	
	 ドイツ	10年 (%)	2.70	2.56	2.59	+0.03	

市場・指標			5月12日 ～ 5月16日		5月16日	前週末比	トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	変化幅(円)	
為替	 米ドル (円)		148.65	144.92	145.70	+0.33	
	 ユーロ (円)		165.21	162.46	162.64	-0.89	
	 豪ドル (円)		95.65	92.75	93.28	+0.07	

市場・指標			5月12日 ～ 5月16日		5月16日	前週末比		トレンド (直近2か月)
			高値	安値	終値	騰落幅	騰落率	
その他	 日本	東証リート (ポイント)	1,748	1,719	1,734	+1	+0.0%	
	 米国	NY原油 (ドル)	63.90	60.47	62.49	+1.5	+2.4%	
		NY金 (ドル)	3,296	3,123	3,187	-157	-4.7%	

(注) Bloombergのデータを使用して浜銀総研作成。 休日・休場の場合は、その前営業日の値を使用して作成してあります。

②マーケット動向(振り返り&予想)

2025年5月19日 ~ 2025年5月23日

 株式

上値の重い展開か

 日経平均
【予想レンジ】 37,000 円 ~ 38,200 円

- 先週の日経平均は上昇。12日に米中両政府が相互に課していた追加関税の引き下げで合意。米中対立をめぐる投資家の警戒感が和らいだことを受けて、自動車など主力株を中心に買いが入った。ただ、その後は利益確定目的の売りが優勢となり、週後半の日経平均は下落基調で推移した。
- 今週の日経平均は、上値の重い展開か。今週は20日から主要7か国(G7)財務相・中央銀行総裁会議が開催される。それに合わせて日米財務相会談の開催が見込まれており、米国が求める円安是正が協議されるとの観測から円が強含めば、輸出関連株を中心に売り圧力が高まろう。


 金利
(国債)

強含みもみ合いか

 10年国債利回り
【予想レンジ】 1.430 % ~ 1.510 %

- 先週の国内金利は大幅に上昇。12日に米国と中国が互いの関税を引き下げることで合意したことを受けて、米関税政策による不透明感が和らげば日銀が利上げを進めやすくなるとの見方から長期金利が上昇した。ただ週末16日には、前日の米長期金利の低下を受けて、日本の長期金利もやや低下した。
- 今週の国内金利は、強含みもみ合いか。日銀の追加利上げ観測が復活していることが国内金利の上昇圧力として働こう。今週は23日に4月の全国CPIが発表される。サービス価格の上昇が確認されれば、日銀の年内利上げ観測が強まり、10年国債利回りが1.5%を超えてくる可能性もあろう。


 為替
(米ドル)

円強含みでのみ合いか

 米ドル/円
【予想レンジ】 143.00 円 ~ 147.00 円

- 先週のドル円は週間ベースでやや円安ドル高となった。12日に米中が相互に発動した関税を引き下げることで合意したと発表。米中貿易摩擦が緩和に向かうとの期待から、低リスク通貨とされる円を売る動きが優勢となり、一時1ドル=148円65銭と約1か月ぶりの円安・ドル高となる場面もあった。しかし13日には4月の米CPIが市場予想を下回り、FRBの利下げを意識したドル売りが入った。米国が日本に対して通貨安の是正を求めるとの思惑も円買い材料となった。
- 今週のドル円は、円強含みでのみ合いか。今週開催が見込まれる日米財務相会談で円安是正が協議されるとの観測があり、この点が円の下支え要因となる。また23日に発表される日本の4月の全国CPIを受けて、日銀の利上げ観測が強まれば、円買い圧力が高まろう。

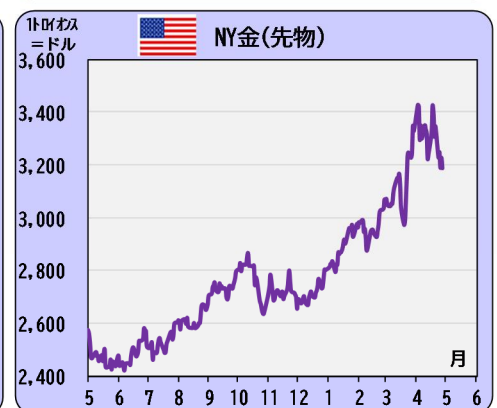
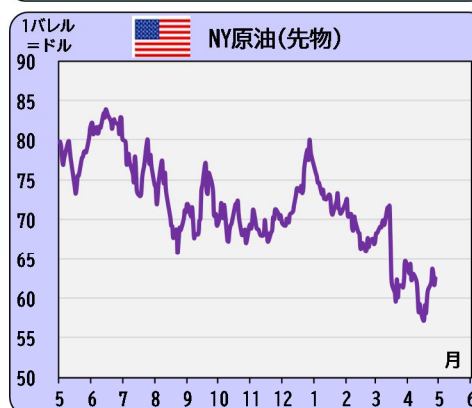
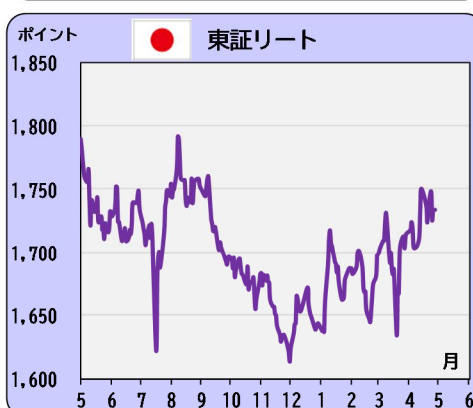
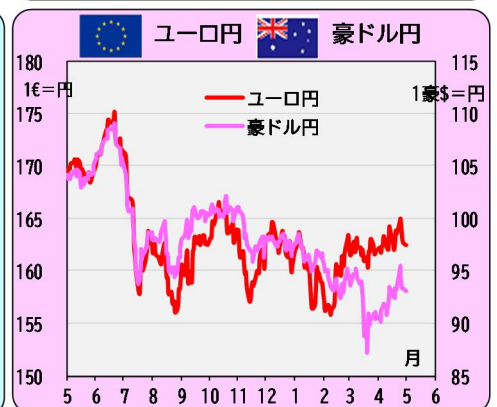
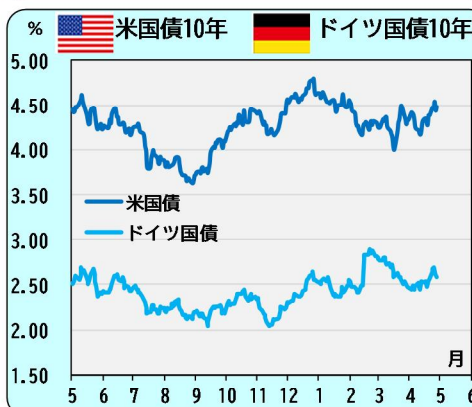
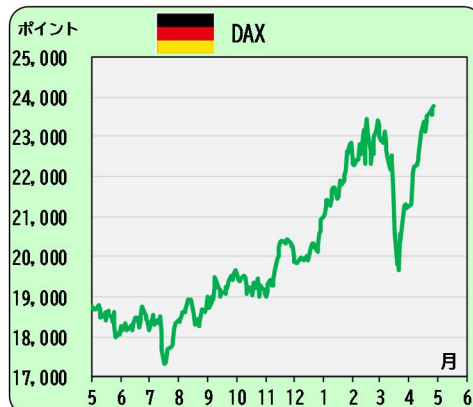
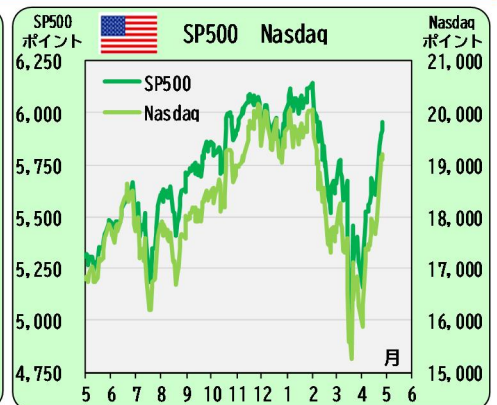
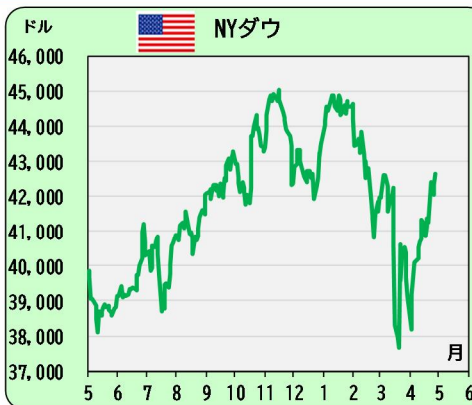


○今週の注目指標 ※内容および日程が変更される場合があります。

月 日	国 内	海 外
5/19(月)	第3次産業活動指数(3月)	米国: 景気先行指標総合指数(4月)
5/20(火)	国債入札(20年)	主要7か国 (G7) 財務相・中央銀行総裁会議 (~22日)
5/21(水)	貿易収支(4月)	米国: 国債入札(20年)
5/22(木)	機械受注統計(3月)	米国: 中古住宅販売件数(4月)
5/23(金)	全国CPI(4月)	米国: 新築住宅販売件数(4月)

③その他チャート集

直近1年間



※Bloombergのデータを使用して浜銀総研作成

※頻出英字略称用語一覧

略称	正式名称	略称	正式名称	略称	正式名称
AI	人工知能	FRB	米連邦準備理事会	PBR	株価純資産倍率
CTFC	米商品先物取引委員会	FTA	自由貿易協定	PCE	個人消費支出
CPI	消費者物価指数	GDP	国内総生産	PER	株価収益率
ECB	欧州中央銀行	IMF	国際通貨基金	PMI	購買担当者景気指数
ETF	上場投資信託	IEA	国際エネルギー機関	PPI	卸売物価指数(生産者物価指数)
EU	欧州連合	ISM	米供給管理協会	SQ	特別清算指数
FDI	海外直接投資	OECD	経済協力開発機構	TPP	環太平洋経済連携協定
FF	フェデラルファンド	OPEC	石油輸出国機構	WSTS	世界半導体市場統計
FOMC	米公開市場委員会	OPEC+	OPEC加盟国と非加盟国の枠組み	WTI	ウエストテキサスインターメディアート(原油)

●ご留意事項

- ・本レポートの目的は情報提供であり、売買の勧誘ではありません。本レポートに記載した内容は、発行日午前9時までの情報にもとづく浜銀総合研究所・調査部の見解であり、レポート発行後に予告なく変更することがあります。また、本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源にもとづいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。最終的な投資判断はお客様ご自身でなさるようお願いいたします。
- ・本レポートに関するお問い合わせは浜銀総合研究所・調査部までお願いいたします。